

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

施策名 (小項目)	工業	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-03	氏名	横山雅一	
			電話	64-1832	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	おもてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	高度な技術を生かした地場産業の振興、発展を図り競争力を向上し地域経済の安定を目指すとともに、中小企業の支援を行い雇用の安定を図る。また、各種許認可事務を通じて、安全で適正な事業の推進を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	本市の工業の中心は耐火煉瓦製造業で、その生産量は全国総生産の3割を占めており、原料粉砕などの関連業種を含めると、まさしく本市の基幹産業として地域経済を支えてきた。しかし、昭和50年代に入ってから耐火物産業全般が構造不況に陥り、官民挙げて製品の高品質化・多角化に取り組んでいる。本市における企業の集積度は高く、可住地に占める工業用地の割合も高くなっている。今後は未利用地の有効利用、生産基盤の整備に努めるとともに、中小企業の体質改善に重点を置いた工業の健全な発展を図る必要がある。また、情報インフラ先進県としての有利性を生かし、企業を支える体制を作る必要がある。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 既存企業の拡張 適応業種の育成 起業の支援 中小企業の育成 特定業種への支援 	

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業 評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業費(単位:千円)						優先順位 その他	
			H17		H18		H19			
			直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費	直接 事業費	人件費		
1 適応業種支援事業	C	岡山セラミックスセンター補助事業	ソフト事業	7,634	885	7,267	501			
2 中小企業融資事業	C	商工振興融資斡旋事業	ソフト事業	4,726	3,290	3,320	2,957			
		中小企業災害融資利子補給事業	ソフト事業	1,235		1,006				
3 地場産業支援事業	C	地域産業集積活性化推進補助事業	ソフト事業	655	1,900	655	501			H19完了
		中国地区集積活性化地域関係市町村連絡会議負担金	ソフト事業	35		0				H18廃止
4 工業振興事業	B	計量器検査事務	法定事務	0	4,399	0	2,105			
		火薬類取扱い事務	法定事務	0		0				
		地下資源関係事務	法定事務	0		0				

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)	H17	H18	H19
	24,759	18,312	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

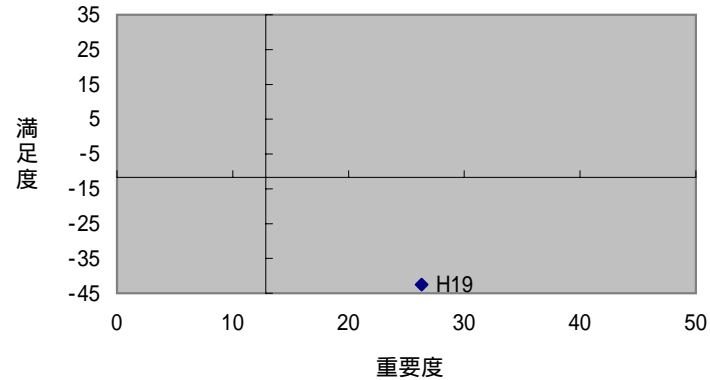
実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明
岡山県	岡山セラミックスセンター運営事業(仮称)	セラミックスセンターの運営全般
備前市	商業団体支援事業	商工会議所、商工会との協働

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	3	中小企業融資事業は順調に進んでいるが、全体的な工業振興については、直接各企業と面談を行なうなどの施策の展開はできていない。	2	施策成果指標のメニューの内容が少ない。
2 事業構成の適当性	3	商工会議所、商工会と連携を密にし、各企業の体質改善等に重点をおいた施策を展開することが必要である。	3	施策の展開として、起業の支援を重点的に行なってはどうか。
3 施策の有効性	3	市にとって企業の活性化は重要課題であり、さらなる施策の展開が必要である。	3	目標はほぼ達成しているが、工業統計の出荷額、失業率等を把握してはどうか。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示	商工会議所、商工会との連携を密にすること。国、県等の補助事業の確認		関係機関との連携を図るとともに、起業の支援に向けて、場所の確保と補助要綱を策定すべきである。	
二次評価者コメント	岡山セラミックスセンターの補助金は、もう少し減でもよいのではないかと。			平成20年度 予算の方向性 減配分

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	26.3		
満足度(%)	-42.5		



高 ↑ 満足 度 ↓ 低	<p><見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要</p>	<p><維持領域> 現状の方向を継続</p>
平均	<p><検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要</p>	<p><強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う</p>
	低 ← 重要度 → 高	

調査結果に対するコメント、市民の反応等	商工業に対する重要度は高く、満足度は低い。工業に対する市民からの直接要望は少ないが、アンケート結果を真摯に受け止め、継続して努力を要する施策であると思う。工業の面では、起業誘致を図り雇用の拡大を望んでいるものとする、商業の面では、商店街の活性化、大型ショッピングモールの誘致、旧アルファビゼンの再生の要望と思われる。
調査対象でない施策の場合は、市民の反応等	

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 セラミックスセンターにおける検査件数	目標	件	7,461	8,465			試験・分析件数
	実績	件	8,465	8,532			
	達成率	%	113.5	100.8			
2 備前市全体の出荷額	目標	万円	16,885,194	16,776,712			前年度工業統計調査
	実績	万円	16,776,712	23,114,138			
	達成率	%	99.4	137.8			
3 備前市全体の従業員数	目標	人	5,599	5,431			前年度工業統計調査
	実績	人	5,431	6,441.0			
	達成率	%	97.0	118.6			
4 商工振興融資件数	目標	件	なし	なし			融資件数
	実績	件	180	182			
	達成率	%	-	-			